

みどりかがやく

たいへんなことに挑戦すること

先日、花壇の草を生徒たちが抜いていました。生徒たちの手で植えた花を自分たちで守ることは、たいへんなことではありますが、大切なことだと思います。日頃から、自分たちの力で身の周りの環境を整えることが当たり前になってほしいと思います。

花壇の外に目を向けますと、4月の後半から2種類の花が咲いているのに気が付きました。一つはアカバナユウゲショウで、もう一つはヒルザキツキミソウです。アカバナユウゲショウは四枚の花弁をもち、濃いピンク色をして可愛い印象をもちます。ヒルザキツキ



濃いピンクで小さな花の アカバナユウゲショウ
薄いピンクで大きな花の ヒルザキツキミソウ

ミソウは同じ四枚の花弁ではありますが、アカバナユウゲショウと比べて、花は大きく花弁の外側が薄いピンク色であり、優雅な印象を受けます。2種類とも、元は栽培されていたものでありますが、現在では野草化しています。その2種類の花に力強さを感じます。

さて、学校朝会でサニブラウン・ハキーム選手の話をしました。サニブラウン選手は、現在、フロリダ大学の学生として学業と陸上競技と2つのことに努力をしています。先日、100m競技で日本新記録を出したため、サニブラウン選手の名前を知っている生徒は大勢いました。なぜ、サニブラウン選手がアメリカのフロリダ大学へ進学したのかを調べてみました。アメリカの大学は「学生の本分は学問である」という理由で、陸上競技に費やせる時間には制限があり、本分である学問の成績が良くないと大会への出場はおろか、練習もできないことがわかりました。フロリダ大学は陸上競技だけでなく、いろいろなスポーツで優れた実績をもつ大学であることもわかりました。サニブラウン選手がアメリカの大学で文武両道の道を選んだのは、厳しい環境の中で自分を鍛えるためであり、高いレベルに身を置いて競い合うためなのです。また、サニブラウン選手は「スポーツ経営学」を学びたいという強い意志があることもわかりました。英語について、日常会話に不自由はないようですが、専門的な語彙は不足しているので、レポートなどに苦労することは分かっているのですが、「勉強はとても楽しみです。」と力強く答えています。

学校での勉強が「大好き」という生徒は少ないかも知れませんが、勉強することは、自分の可能性を伸ばし、必ず、将来の自分に役に立つことになります。たいへんなことかも知れませんが、将来のことを見据える必要もあります。サニブラウン選手のように日本新記録を樹立させることは難しいと思いますが、自ら目標をもち、その目標に向かうために努力を惜しまない、力強く生きていける生徒であってほしいと願っています。